

総合学科の目標

基本目標	具体目標	実践方法
I. 将来を見すえた生き方を考え、望ましい職業観・勤労観を育成する。	1. コミュニケーション能力を高める。 2. 情報活用能力を育成する。 3. 生きて働く力を育てる。 4. 地域の中の自分を見つめる。	(「産業社会と人間」「ライフスタディ」での学習活動の中で) a. 新しい環境に適応し、他者との人間関係を築けるような機会を設定する。 b. 他者の考え方や個性を認め、受容する力を育てる。 c. 調べる方法を身につけ、さらに調べたことや体験したことをまとめる力を養う。 d. グループで、クラスで、学年で、それぞれ役割を決めながら、協働して創造する力を養う。 e. 人前で発表したり、人に的確に伝えたりできる力を養う。 f. 自己について多面的にとらえ、さらに生き方の探求につなげていく。 g. インターンシップ、校外学習を通じて、自己有用観、責任感、さらには好ましい労働観を育む。 h. 地域の歴史や文化について、学習する機会を設け、地域とのつながりを振り返らせる。
II. 自己実現に向け資質・能力を磨き、主体的に生きる姿勢を涵養する。	1. 自分の将来を考え、そこから実践的な課題を見つけさせる。 2. 実践的知識や技能を習得させる。 3. 自己決定力を育てる。	(系列・進路を意識した選択科目) a. 自分の将来を考え、それを実現するための時間割を考えることにより、将来の自分を明確にイメージさせる。 b. 将来の進路を意識した選択により、進路実現への効率的な学習を促すため、ガイダンス機能を充実させる。 c. 系列学習により、その分野の初歩的な知識や技能の定着を図り、次のステップへの基礎固めをする。 d. 校外学習、体験型学習を多く取り入れることで、より実践的な技能や知識を習得させる。 e. 自己の能力と適性を的確に判断し、目標と課題を実現するための手だてを考えさせる。